子宮頸部円錐切除術を受けられる方へ

患者様用

患者氏名　　受け持ち医師：　　受け持ち看護師：

月日 経過	／ 入院日	／ **手術当日**（手術前）　（手術後）	／ 手術後1日目（退院日）
達成目標	◇手術に必要な検査が終了している ◇手術の必要性が理解できている ◇手術の準備が整っている ◇不安が軽減し落ち着いている	◇麻酔・手術の侵襲から早期に回復する ◇性器出血が少量である ◇創痛・苦痛が強くない	◇性器出血が少量である ◇発熱・腹痛がない ◇頭痛がない ◇退院後の生活について理解できている
治療・処置	身長・体重をはかります。 診察・問診をします。 陰部の除毛をします。 弾性ストッキングの試着をします。（必要な方のみ） 	排便がない場合は坐薬を使用します。 手術が1番目のときは9時に行きます。 手術が2番目のときは点滴をする事があります。 手術後、点滴が2本あります。 点滴終了後、体調に問題なければ点滴の針を抜きます。 出血が多い場合は看護師にお知らせください。 	朝、出血が多ければ主治医の診察がある可能性があります。 
薬剤・検査	19時に下剤を2錠飲みます。持参薬をお預かりします。		血液検査
安静度	病棟内は制限ありません。	手術後は、指示があるまでベッド上安静です。 術後2時間経って覚醒していれば、看護師と一緒に頭を起こして座り、飲水をすることができます。 麻酔の影響で、頭痛や吐き気が生じることがあります。	制限はありませんが、あまり動くと出血が増えたり、頭痛がすることがあります。 できるだけ安静に過ごしてください。
食事	朝・昼・夕：普通食 夕食後から、食べることはできません。	飲水（　　）まで可能。 麻酔科医より、飲水の指示があります。食べることはできません。  夕食から、食事ができます。 	普通食 
清潔	除毛後シャワー浴をしてください。	動けるようになれば着替えが出来ます。	
排泄	制限はありません。	尿の管が入っています。足の感覚が戻ったら尿の管が抜けます。 夕方までに足の感覚が戻らなければ、尿の管は翌日朝抜去します。	制限はありません。
注意点 確認事項	入院前に医師からの手術説明はすでに行われていますが、 何か質問がありましたら看護師へ伝えて下さい。 麻酔科医の医師と手術室の看護師が問診に来ます。 紙オムツ・術後着を看護師に渡してください。 病棟案内、手術のオリエンテーションをします。 抗血栓薬、糖尿病薬、降圧剤内服、インスリン注射されている方は、手術のため、中止することがありますので 看護師に教えてください。	化粧・マニキュアはしないでください。 指輪・ネックレス・ヘアピン・コンタクト・時計・義歯などはすべて外してください。	手術終了後、主治医からご家族に説明があります。 痛みがあるときはお知らせください。 起き上がりや歩行は看護師と共に行ないますので、 指示を待って下さい。	出血が多いときは、診察をしますので、お知らせください。 病理組織検査の結果は、次回外来受診日に説明があります。 受け持ち看護師より、退院後の生活指導があります。

＊入院前にマニキュア・ペディキュア・ジェルネイル・指輪は外しておいてください。

＊入院のために準備していただくものは下記の通りです。（紙オムツは病院の売店で揃えることができます。）

紙オムツ　1枚、　生理用ナプキン2～3枚　、　術後着　1枚

＊術後着は、eレンタルにてご準備頂いています。入院時に手続きを行い、1枚レンタルでご準備ください。

九州がんセンター　婦人科　2003年 3月作成
2026年3月改訂

何か分からないことがあればいつでもお尋ねください。

本人・家族への説明　　年　　月　　日　　説明者署名：

退院後、注意していただきたいこと

1. 当院に通院される方は、再来予約票に書いてある日時に
   必ず受診してください。
2. 予約の変更がある場合は必ず予約センターにご連絡
   ください。
3. 膣からの出血が多かったり、発熱・腹痛があるときは
   病院にご連絡ください。
4. 退院日よりシャワー浴は可能です。
入浴は、感染の可能性があるので次回外来日以降ま
で避けてください。
5. 出血などの異常がなければ、徐々に日常生活に戻してください。
6. 性交渉は、出血の原因になりますので、1ヶ月くらいは避けて
   ください。
7. 平日の8:30～17:00頃は主治医へ、それ以外の時間は
   当直師長へ電話連絡後、指示に従って受診してください。

九州がんセンター　婦人科　.2024年　9月改訂